

「しまね生き生き職場宣言」が策定されました

「島根県仕事と生活の調和推進会議」では、島根県における仕事と生活の調和を推進するため、労使をはじめとする県内関係者が取り組むべき方向を示す「提言」や「目標」の策定に向けて検討を行い、平成22年1月19日に「しまね生き生き職場宣言」～島根県における仕事と生活の調和推進のための提言～ をとりまとめました。

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」で示された
「仕事と生活の調和が実現した社会」

就労による経済的自立が可能な社会

健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

多様な働き方・生き方が選択できる社会

島根では何をすればよい？

しまね生き生き職場宣言

- 提言1 「仕事と生活の調和」を企業の売りに！
～ 島根の良さを活かした「仕事と生活の調和」を
各企業の魅力として発信しましょう ～
- 提言2 まずは職場に実情を語り合う場をつくらう！
～ 経営トップのリーダーシップのもと、
労使でお互いの実情を話し合いましょう ～
- 提言3 しっかり仕事、すっきり帰宅！
～ 一人ひとりが効率的に働き、充実した生活時間が得られるよう
生産性の向上を図りましょう ～
- 提言4 男性も生活を楽しもう！
～ 男性の家事・育児時間を増やし、
男女ともに「仕事と家庭の両立」を実現しましょう ～
- 提言5 みんな元気に生涯現役！
～ 年齢に関わりなく社会や地域に参加することができる
「全員参加型社会」の実現を図り島根を活性化させましょう ～

また、平成 22 年 3 月 23 日には、「しまね活き活き職場宣言」に基づく取組の第一歩として、島根県内の労働者団体、使用者団体、行政機関のトップ 5 者により、島根県における仕事と生活の調和の実現に向け、

- 連携して取組の環境整備を図っていくこと
 - 推進状況を検証し、フォローアップを行っていくこと
- が「島根県五者宣言」として表明されました。

○ トップ5者による「島根県五者宣言」への署名



【写真奥から、日本労働組合総連合会島根県連合会 矢倉会長、社団法人島根県経営者協会 若佐会長、溝口島根県知事、島根県中小企業団体中央会 杉谷会長、伊藤島根労働局長】（肩書きはすべて平成 22 年 3 月 23 日現在のもの）

○ 署名後のトップ5者と「島根県仕事と生活の調和推進会議」の猪野議長



【写真右から、日本労働組合総連合会島根県連合会 矢倉会長、社団法人島根県経営者協会 若佐会長、溝口島根県知事、「島根県仕事と生活の調和推進会議」の猪野議長（島根大学名誉教授）、島根県中小企業団体中央会 杉谷会長、伊藤島根労働局長】（肩書きはすべて平成22年3月23日現在のもの）

仕事と生活の調和の推進は、企業や労働者のみならず、地域全体の活力、島根で暮らす魅力を底上げすることにもつながるものです。

仕事と生活の調和の推進に向けて出来ることから取組をはじめませんか！